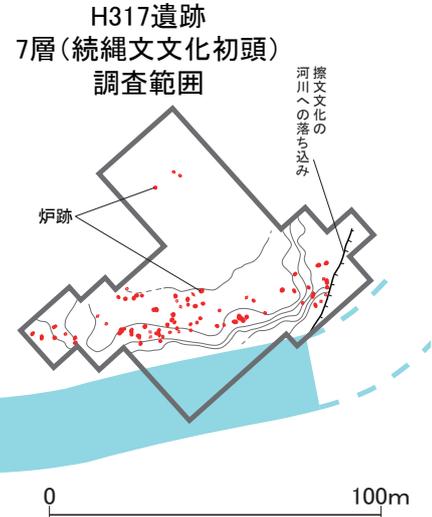
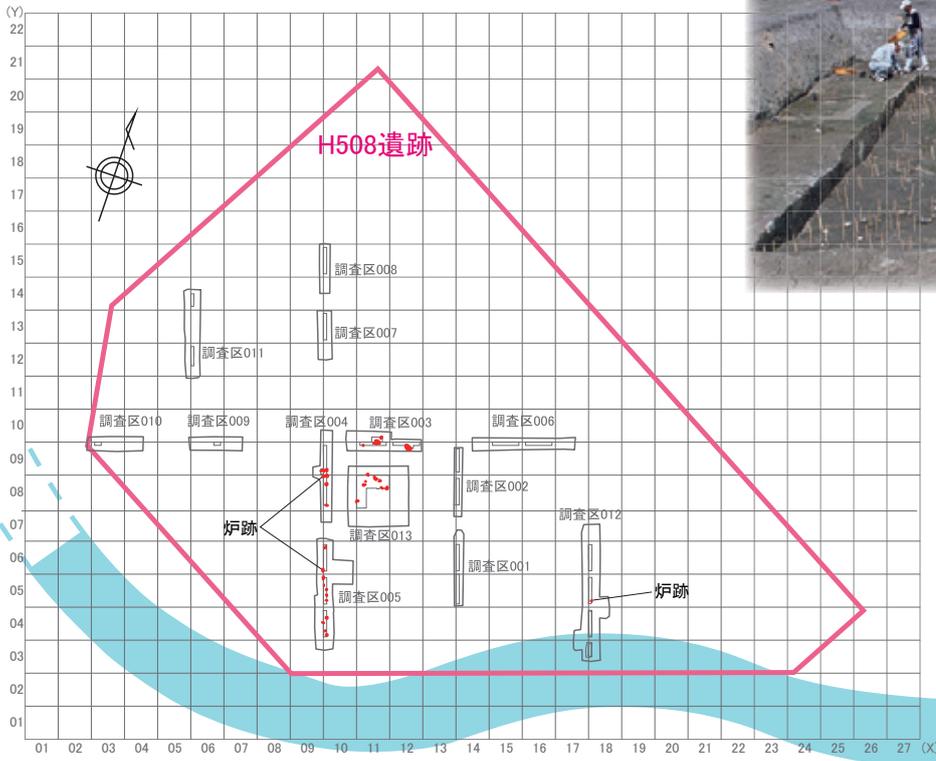




調査区 013 遺物出土状況



縄文晩期後葉～続縄文前葉頃の推定河川流路
 ※河川幅は不明であり、上図の河川幅に根拠はありません。 ※図中の赤い点はすべて炉跡を示しています。

0 100m

確認調査区の配置と想定される河川の流路



トレンチの掘削作業 (調査区 012)



遺物の検出作業 (調査区 004)



遺物の検出作業 (調査区 013)

遺跡の時期

確認調査では、5枚の遺物包含層が確認されました(3a層、3b層、4a層、4b層、4c層)。出土した土器の特徴から、3a・3b層が続縄文前葉頃、4a～4c層が縄文晩期後葉～続縄文初頭頃に相当するものと考えられます。したがって、丘珠縄文遺跡は、縄文晩期後葉以降に、札幌北部の平野部に人々が進出し、河川に沿った自然堤防上を活動の拠点として、続縄文前葉頃まで繰り返し利用したことによってのこされた遺跡と考えられます。

本州の時代区分 Chronological periods of mainland Japan	旧石器文化 Old Stone Age culture	縄文文化 Jomon culture						弥生文化 Yayoi culture	古墳文化 Kofun culture	奈良時代 Nara period	平安時代 Heian period	鎌倉時代 Kamakura period	室町時代 Muromachi period	安土桃山時代 Azuchi-Momoyama period	江戸時代 Edo period
		草創期 Incipient	早期 Initial	前期 Early	中期 Middle	後期 Late	晩期 Final								
年代 Age	20000年前	16000-15000年前	10000年前	7000年前	5500年前	4500年前	3000年前	2300年前	1300年前		800年前				
北海道の時代区分 Chronological periods of Hokkaido	旧石器文化 Old Stone Age culture	縄文文化 Jomon culture						続縄文文化 Zoku-Jomon culture		擦文文化 Satsunon culture		アイヌ文化期 Ainu culture period			
		草創期 Incipient	早期 Initial	前期 Early	中期 Middle	後期 Late	晩期 Final	オホーツク文化 Okhotsk culture							

※北海道の時代区分は、考古学における一般的な時代区分です。

丘珠縄文遺跡

北海道の時代区分と丘珠縄文遺跡の位置づけ